

健康

日本脳炎の予防接種を受けましょう

健康・保険課 保健予防係 ☎(232)4912

平成25年度は、標準的な接種年齢である3歳、4歳に加えて、小学校1～4年生と高校3年生にも、日本脳炎の予防接種をお勧めしています。保護者は、母子健康手帳を確認し、日本脳炎の接種回数が不足している場合は接種させましょう。

■費用 無料

■接種医療機関

「菊陽町予防接種だより」に掲載しています(事前に予約が必要です)。

■持参するもの

母子健康手帳、予診票(※)

※予診票は健康・保険課で交付しています。母子健康手帳と印鑑を必ずお持ちください。



対象者

	回数	接種対象年齢
第1期初回	2回	生後6カ月～90カ月(7歳6カ月)に至るまで
第1期追加	1回	
第2期	1回	9歳以上13歳未満
※特例措置	1回～4回 (過去の接種回数に準じた残りの回数)	平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれ (20歳未満までの間)

※平成17年の積極的な接種勧奨の差し控えにより、第1期、第2期の接種が受けられなかった人の接種機会の確保です。

健康

女性のための乳がん・子宮頸がん検診

健康・保険課 保健予防係 ☎(232)4912

20歳代の子宮頸がん検診

■対象者 20歳代の女性

(昭和59年4月1日～平成6年3月31日生まれ)

■実施期間 10月15日(火)～平成26年2月28日(金)

■検診料金 1,500円

※「がん検診推進事業」の対象者は、すでに配布している無料クーポン券を使うと、検診料金は無料になります。

■申込方法 8月1日(木)から8月30日(金)までに電話で健康・保険課にお申し込みください。後日、申し込んだ人に受診票を郵送します。

※医療機関への予約は、受診票を受け取ってから行ってください。

町が指定する医療機関

医療機関名	所在地
ちが産婦人科医院	原水
菊陽レディースクリニック	新山
池田クリニック	合志市
片岡産婦人科医院	熊本市

各検診と内容

検診名	内容	料金
乳がん検診	視触診+超音波	1,500円
子宮頸がん検診	子宮頸部細胞診	1,000円
骨粗しょう症検診	超音波(かかと)	500円

※「がん検診推進事業(子宮頸がん検診)」の対象者は、すでに配布している無料クーポン券を使うと、検診料金は無料です。

30歳代の複合検診

次のとおり集団検診を予定しています。対象者には、8月上旬に申込書を送りますので、送付された内容を確認し、お申し込みください。

※子宮頸がん検診は、町で指定する医療機関での受診もできます。希望する場合は、送付する申込書でお申し込みください。

■対象者 30歳代の女性

(昭和49年4月1日～昭和59年3月31日生まれ)

■検診場所 町の施設

■実施期間 11月中旬

食の安心・安全を願う 菊陽町食品衛生協会に入りませんか

菊陽町食品衛生協会では、会員の募集を随時行っています。消費者に安心で安全な食品を提供するため、食品関係業者は食品衛生協会に加入しませんか。詳細は、菊陽町商工会へお問い合わせください。

- Q 菊陽町食品衛生協会では何をしていますか。
- A 町内の食品製造業、飲食店などが菊池保健所や菊陽町と連携・協力して「食の安心・安全」を守るための推進活動を行っています。
- Q 具体的にどのような活動ですか。
- A 「食品衛生」に関する講習会の開催や食中毒予防のための町内広報活動、食品衛生施設一斉巡回指導、食品衛生に関する最新の情報提供、そして万が一の食品事故に備え協会会員のための食品共済保険の取り扱いなどを行っています。昨年度は年に2回、食中毒多発時期に合わせて、町内を広報車で巡回し広報活動も実施しました。現在、町内87事業所が加入し、地域住民からの信頼を得るために努力しています。

■問い合わせ
菊陽町商工会内 食品衛生協会事務局
☎(232)2757

現在、子宮頸がん予防ワクチン接種を積極的にはお勧めしていません

ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な痛みなどの重い副作用が、子宮頸がん予防ワクチン接種後に報告されています。

国から6月14日に、「適切な情報提供ができるまでの間、定期接種の積極的な勧奨を差し控える」と通知がありました。

現在、子宮頸がん予防ワクチンの予防接種は、積極的にはお勧めしていません。

ただし、接種を希望する人は、その有効性とリスクを十分に理解した上で定期接種として受けることができます。

■問い合わせ
健康・保険課 保健予防係
☎(232)4912

熱中症を予防しましょう

熱中症とは、暑さなどにより体内の水分や塩分のバランスがくずれ体温の調整ができなくなる病気です。熱中症になると、めまいや頭痛、吐き気、だるさなどの症状が現れます。



■熱中症の予防には「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です

- ①水分をこまめに補給しましょう。
 - ・飲み物を持ち歩きましょう。
 - ・高齢者は、喉が渇かなくても小まめに水分を取ることが大切です。
- ②エアコン、扇風機を上手に使う
 - 同じ気温でも湿度が高いほうが熱中症にかかりやすいです。エアコンの温度設定が高くても同時に扇風機を回せば効果的に涼しくでき節電にもなります。
- ③外出時に気をつけること
 - ・外出時は帽子や日傘を使用しましょう。
 - ・襟元を少し緩めて涼しい服装を心掛けましょう。
 - ・こまめに休憩しましょう。
- ④十分栄養を取りましょう
 - ・夏バテなどで、食欲がなくなったときは、体を冷やす食材(トマトやなす、スイカなど)や料理を選ぶなど工夫して、栄養不足にならないよう気をつけましょう。
 - ・汗で失われやすいミネラルや水分を含んだ野菜をたっぷり取りましょう。
- ⑤十分睡眠を取りましょう
 - ・熱中症の発症には、日々の体調が影響します。十分睡眠を取りましょう。
 - ・寝苦しい夜は、水枕や涼感素材の寝衣、涼しく寝られる寝具などで、安眠環境を整えましょう。

■問い合わせ
健康・保険課 保健予防係 ☎(232)4912